中国・上海交通大学からのレポート

教育文化学部　　人間社会課程　３年次（氏名　高野　七菜子　）

〇留学先：中国　上海　上海交通大学　国際教育学院
〇留学期間：　23年9月～　　24年6月(前期　3年後期9月下旬～4年前期6月下旬)

〇生活費：(1元＝12．1円で計算します)
渡航費：飛行機片道 42,000 円（東方航空）
寮費：一学期９６００元（９月～翌年２月まで 116,160 円）
食費：一カ月約７００元程度（8,470 円）
交遊費：一カ月約１０００元（12,100 円）
交通費：一カ月約１００元（1,210 円）
その他：一カ月1400元（16,940 円）洋服、消耗品、生活用品など

〇寮の環境：
一人部屋、ベット、机、本棚、クローゼット、テレビ、トイレ、シャワー
ただし、トイレとシャワーのしきりがなく、トイレが水浸しになる。バスタブはなし。
洗濯は有料。学校の洗濯屋さんに委託する仕組み。（洗濯、乾燥で２０元 240 円）ただ、水で白いシャツが黄色くなる。日本の一昔前の洗濯機を使っていてレース物は絶対洗濯できない。
キッチンはあるが汚すぎて日本人には使えないレベル。しかし、ご飯が安いので外食で済ますことができる。

〇大学のサポート状況：
２人サポートの先生がいらっしゃる。ひとりは英語、ひとりは日本語と韓国語ができるので安心。
安いスーパーや学校の事意外も教えてくれるので分からないことがあったらなんでも相談する。
寮の管理人さんは中国語しかできない。

〇授業の様子：
初級のクラスにいるので、ライティング、スピーキング、リスニングの三科目。
先生の言葉は中国語、ときどき英語といった感じ。
クラスによって違うけど、今のクラスは20人程度で授業。（クラスによっては5人のところもある）
半分が日本人だが、交換留学生は自分のみ。駐在員、その妻が多い。日本人は日本人で固まることが多いので注意が必要。
どの授業でも生徒に発言させるので、積極的に授業に参加しなければただノートに書き写すだけになる。
分からないところはその場で質問する。
宿題の量が少ないので、予習復習と別に勉強の時間を取ることができる。
授業は基本半日なので授業に縛られることはないが物足りない印象。

〇他の留学生たちの様子：
留学生は１０００人以上いる。東アジア系、東南アジア系、ヨーロッパ系が多い。英語が話せないのは日本人だけ。

一番多いのは日本人、その次に韓国人、アメリカ人。韓国人は英語+αを話せる人が多いので驚いた。欧米系は授業中に口説いてくるので、はっきりと拒否しなければいけない。
遊ぶ時はどこの国のひとも同じ言語で固まる。留学に来ているだけあって、基本みなフレンドリー。友達はたくさんできる環境だと思う。

〇現地学生との交流:
中国人の交通大学生との交流はほとんどない。しかし、日本語学科があるのでツテで相互学習をすることはできる。他の大学（上海師範大学や復旦大学）の方が日本語学科の人数も多いし、力を入れている印象なので私は他の大学生と相互学習をしている。

〇街の様子:
街は汚い。しかし、活気があって楽しい。
交通手段はタクシーか地下鉄。移動手段に困ることはない。
上海は日本人が多い場所なので日系のスーパーやお店がたくさんある。
大学周辺はデパートがそろっており、買い物に困ることはない。安い中国人しかいないようなご飯屋さんもそろっていて食費は安く抑えることができる。
最初、中国人には無愛想な印象を受けるけど、仲良くなると優しい。上海の老人は上海語で話すので何を言っているのか全く分からない。

〇その他:
日本の会社から派遣されてきた人が多いので、仕事の話を聞いたりすることもできる。
学校の授業とは別に家庭教師を雇ったり、塾に行ったり日本人が多い。
大きい学校で世界中の人が集まっている印象。いろいろな人がいて刺激的。
中国とくに上海は日本では見ることのできない格差に最初はショックを受ける。見た目は似ているが文化が違いすぎて驚く。
2 年生が多いので３年だと、なんでこの時期？と聞かれる。